

日本とオランダ間の港湾分野における協力に関する覚書

○署名者

下司弘之 国土交通省港湾局長 （日本側）
 ロアルド・ラペーレ インフラストラクチャー・水管理省環境・国際関係局長
 （オランダ側）

○署名にあたってのコメント

（国土交通省港湾局長）

日蘭港湾分野相互協力の促進に係る覚書の署名式を行うことができることを大変嬉しく思います。

国土交通省港湾局では、昨年シンガポール海事港湾庁との間で同様の覚書を結んでおり、さらには、オランダとシンガポールの間でも、既に協力覚書が締結されていることから、今回の覚書署名により、世界の海上物流の中核となる欧州－アジア航路の両端とその結節点を占めるオランダ、シンガポール、日本の3カ国が一体となり、効果的に世界の海運・港湾の発展に貢献していくことが出来るものと考えています。

（インフラストラクチャー・水管理省 環境・国際関係局長）

本覚書の署名により、1600年から続くオランダと日本の情報交換の歴史が、本日、新たなステップに進んだことを嬉しく思います。

ロッテルダム港は欧州最大の港湾として、重要な役割を果たしております。しかし、継続的な発展のためには国際的な連携が不可欠であり、日本の新たな取り組みから学ぶことができると考えています。

本覚書では、オランダと日本の協力が相互利益をもたらす広範囲で興味深い分野を協力の範囲としています。今後、両国が絶え間なく成長し、実りある協力になることを楽しみにしています。



署名の様子

（左：ラペーレ局長、右：下司局長
 後列中央：ヤコビオランダ王国大使）



覚書の交換の様子

（左：ラペーレ局長、右：下司局長）